

「保育実習指導のガイドライン（東北版）」の改訂について

平成 29 年度東北ブロック研究委員会

【「保育実習指導のガイドライン」の策定と改訂の経緯】

…全保養協・研究大会で報告（利根川ら,2014 他）

1) ガイドライン策定の目的と経緯

- ・実習指導内容が県、養成校毎に異なることに戸惑う実習施設。
- ・不明瞭なままの実習教育方針では、実習指導が「現場任せ」となりかねない。
- ・各校の取組の共有⇒ブロック全体として実習教育の方針、広域的な共有化を図る。
- ・学生に指導する基本的事項を明確にする。優れた指導事例を紹介する。
- ・あくまでガイドラインのため、組織的拘束力を持たせるものではない。
- ・実習指導の統一化のメリット・デメリット
 - ・実習先では、同じ書式（日誌や評価表）で指導可能（負担が少ない）。
 - ・書式等の統一もしくは改訂の過程で、養成校同士の連携を図ることができる。
 - ・新設の養成校の場合、既存の書式を利用して実習指導を行うことができる。
 - ・（養成校数が多い場合）最小限の内容でしか統一（共通）化できない。
 - ・修正や改訂を容易に行うことができない。

2) 『保育実習ガイドライン（東北版）』の作成及び Web による公開（平成 25 年度～）

- ・「事前指導」「事後指導」の大綱版（Ver. I）の公開（平成 25 年 11 月）
- ・事前指導の詳細版（Ver. II）の公開（平成 26 年 4 月）
- ・事前指導の改訂版（Ver. II.1）の公開（平成 26 年 11 月）
- ・「事後指導」の詳細版、「実習訪問指導」を追加した改訂版（Ver. II.2）の公開（平成 27 年 11 月）
- ・「実習指導実践事例」、「実習指導様式のひな形案」を追加した改訂版（Ver. III）の公開
(平成 28 年 4 月)
- ・Ver. III [製本版] を各校へ送付（平成 28 年 10 月）
- ・Ver. III.1（平成 29 年 4 月） …ガイドライン本文の加筆・修正
- ・**Ver. IV 公開**（平成 30 年 4 月 21 日 第 1 回総会時）…「**施設実習**」の内容を加筆、全体構成の変更

【今後の検討事項】

- ・各県単位での評価票の統一や、実習指導の手引きなどの改訂作業と連動した検討
- ・全保養協の改訂版「保育実習指導のミニマム・スタンダード」（H29 年）と連動した検討
- ・保育現場との連携をとりながら、実習内容についての検討
- ・実習指導ガイドラインや実習書式（評価票や日誌など）の標準化に向けた検討

※「実習指導のガイドライン（東北版）」の内容、今後、さらに実習指導・実習内容を検討していくにあたり、ブロックの皆様からのご意見を是非、研究委員会にお寄せください。